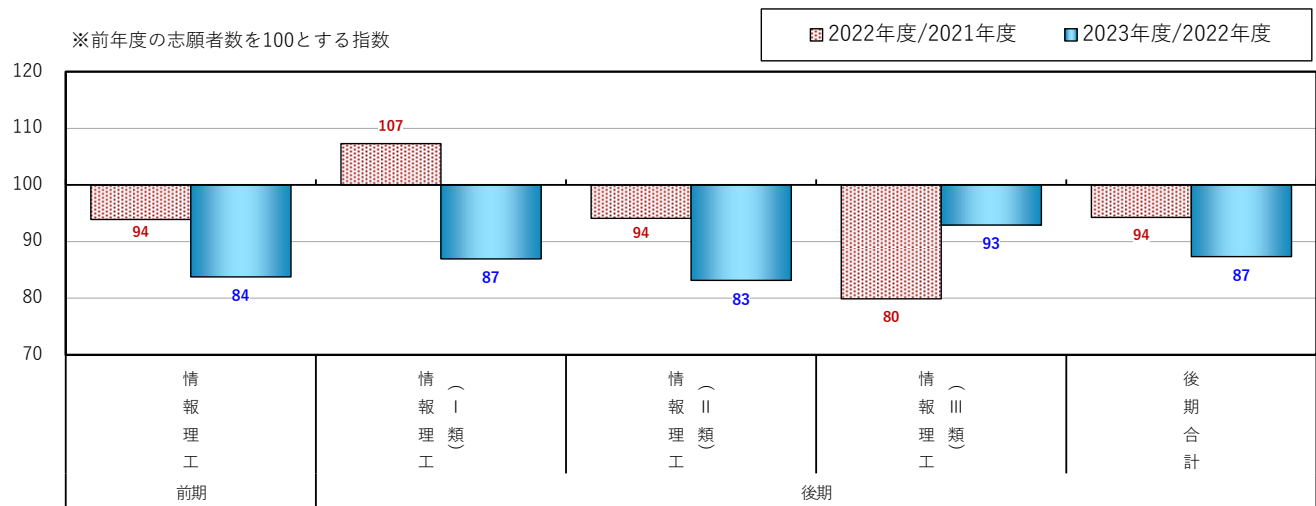


電気通信大：類別募集に変更の前期は大幅減少、後期は3年連続減少 前期：-223人 後期：-296人



※前期は2023年度の類別募集における各級の志願者数の合計と、2021年度、2022年度の大括り募集における志願者数の合計との比較

主な入試変更点 選抜方法：情報理工<前>…大括り募集から類別募集に変更
全類一括：349人→I類：121人、II類：114人、III類：114人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、519人(86)の減少で3年連続減少。2016年度の募集方式変更以降では最少の志願者数。共通テストの平均点アップにより、より目標ラインの高い大学への志望の流れがあったことも影響。前期は大括り募集から類別の募集に変更したが、223人(84)の大幅減少。志願倍率は3.9倍→3.3倍にダウン。後期は296人(87)の減少で3年連続減少。志願倍率は9.4倍→8.2倍にダウンし、7年ぶりの8倍台。

<前期日程>
○情報理工(84)は、大幅減少。類別では、系統への人気の高いI類(情報系)の志願倍率が3類の中で最も高く4.1倍、次いでII類(融合系)が3.4倍で前期全体の志願倍率3.3倍を上回った。III類(理工系)は志願倍率2.4倍で3類の中で最も低倍率だった。

<後期日程>
○情報理工(87)は、減少で3年連続減少。類別では全ての類が減少、II類(融合系)(83)は大幅減少で2年連続減少、I類(情報系)(87)は減少、III類(理工系)(93)はやや減少で2年連続減少。